

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況

No.	事業名	事業概要	対象	事業開始 年月日	事業完了 年月日	総事業費	臨時交付金 充当額	成果・評価
1	くらし応援商品券発行事業	新型コロナウイルス感染拡大により打撃を受けた村内事業者及び村民の生活を応援し、地域における消費を喚起・下支えするため商品券の配布を行う。	令和3年5月1日時点で住民登録している村民	R3.5	R4.3	32,488,184	32,488,184	新型コロナウイルス感染拡大による村内事業者の売上減少を助け、村民のくらしを応援するため商品券を配布した。対予算97.57%（30,735,500円）の利用があり、村民の消費活性化に効果が見られた。
2	物産館・軽食堂エアカーテン設置工事	多くの観光客、地元の生産者及び従業員が訪れる道の駅なるさわ物産館及び軽食堂では、換気対策としてドアの開放を行っている。衛生面に配慮して害虫侵入防止対策を図るため、エアカーテンを設置して衛生対策と換気対策を並行して行う。	道の駅なるさわ物産館及び軽食堂	R3.4	R3.6	473,000	473,000	多くの観光客や地元生産者等が利用する施設での換気用設備を導入することで、衛生面と両立した感染症対策を講じることができた。
3	村税徴収クレジットカード収納事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、非接触・非対面式のキャッシュレス納税を行うため、クレジットカード収納を可能とする収納システム改修等を行う。	村税納税義務者(固定資産税6,800人、個人住民税4,330人、軽自動車税1,950台、国保税560世帯 合計13,640件)	R3.5	R4.1	1,694,000	1,694,000	これまで窓口等での納付のみとなっていたが、キャッシュレス納税を導入したことで対面する機会を減らすことができ、感染対策に繋がった。
4	議会運営用タブレット端末導入事業	議会運営における議案や資料類をペーパーレス化し、議員に貸与したタブレット端末に格納することにより、紙資料配付に伴う職員との接触機会を減らして感染リスクを低減させる。	議会議員10名、事務局職員2名	R3.8	R4.3	1,944,360	1,944,360	議会活動の中で資料配布の機会が多く、ペーパーレス化することで対面配布の機会を減らし、感染対策に繋がった。
5	鳴沢いきやりの湯エアコン設置工事業	新型コロナウイルス感染症対策として、住民が安心・安全に利用できる環境整備として館内にエアコンを設置することで感染症予防を推進する。	鳴沢いきやりの湯（令和3年3月31日現在 年間利用者数18,987人）	R3.4	R4.2	8,112,170	4,079,731	多くの住民が利用する施設の環境を整備することで、感染対策が整った施設となった。
6	小学校感染症対策水道設置事業	管内小学校(鳴沢小学校)の1階中央廊下に流し台を設置して、手洗い・うがいを徹底する。手洗い場を増設することで密集を回避し、感染症の予防対策に努める。	鳴沢小学校 児童数137名	R3.8	R3.11	3,181,915	3,181,915	感染対策のための手洗い・うがいスペースを多く確保することで感染対策に繋がった。
7	学校保健特別対策事業費補助金	管内小学校(鳴沢小学校)の水栓を自動化することで、設備に手を触れることなく手洗いができるようにし、感染症を予防する。	鳴沢小学校 児童数137名	R3.11	R4.2	263,450	132,450	手洗い・うがいの際に必ず触れる蛇口を自動化することで、接触機会をなくし感染対策に繋がった。
8	中小企業者等事業継続支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により売上げの落ち込んだ事業者の事業継続を支援するため、収入減少額の1/2の支援金を給付する。	平成31年(令和元年)又は令和2年の事業収入(売上げ)が、法人は5,000万円以上、個人事業者は1,000万円以上であり、令和3年1月から令和3年12月までの任意の連続する3ヶ月間の事業収入(売上げ)が平成31年(令和元年)又は令和2年の同期と比較して、50%以上減少している村内に本社及び事業所を有する村内事業者等。	R3.10	R4.1	3,000,000	3,000,000	新型コロナウイルス感染症の流行の影響が大きい民宿・宿泊施設などを中心に、8件300万円の支援金を交付し、経営継続の一助となった。
9	山梨県制度融資利用者利子補助金	河口湖商工会を通じて、山梨県商工業振興資金融資制度等を利用した村内事業者に対し、支払い利子額の70%(限度額10万円)を助成する。	山梨県制度融資利用者18名	R3.4	R4.1	318,173	318,173	申請があった事業者10件に対し補助金を交付し、経営継続の一助となった。
10	物産館・軽食堂エアカーテン設置工事	多くの観光客、地元の生産者及び従業員が訪れる道の駅なるさわ物産館及び軽食堂では、換気対策としてドアの開放を行っている。衛生面に配慮して害虫侵入防止対策を図るため、エアカーテンを設置して衛生対策と換気対策を並行して行う。	道の駅なるさわ物産館及び軽食堂	R3.4	R3.6	547,360	547,360	多くの観光客や地元生産者等が利用する施設での換気用設備を導入することで、衛生面と両立した感染症対策を講じることができた。
合計						52,022,612	47,859,173	